

## 注射部位反応について

～症状と対策～

### 注射部位反応とは

皮下注射の後、注射した部位に以下のような症状が出ることを、注射部位反応といいます。

- 赤くなる
- 硬くなる
- かゆくなる
- 痛くなる
- 水ぶくれになる
- 化膿する

### 注射部位反応が出た場合の対処法

#### 全てに共通した対応

- ・注射場所を変える（ふとももなど）
- ・注射針は皮膚に対して垂直に根元まで刺す（液を深くに入れる）
- ・ステロイド外用剤を塗る

#### 注射部位に痛みがある時

- ・注射前に約1～3分間、注射部位を保冷剤で冷やす

#### 注射部位が赤くなった時

- ・注射前後に約1～3分間、注射部位を保冷剤で冷やす
- ・皮膚を保湿ローションで保湿する

#### 注射部位が硬くなった時

- ・注射後に軽くマッサージする
- ・注射後に冷やすのを辞める、または温める

#### 注射部位がかゆくなった時

- ・刺激の少ない絆創膏で注射部位を保護して、衣服の刺激を受けないようにする
- ・皮膚に優しい天然素材の衣服を着る

#### 変色、水ぶくれ、化膿など

- ・直ぐに医師に相談しましょう

### 注射部位反応の予防

特に誤った注射手技や、同じ部位への注射の繰り返しが原因になることが多いため、正しい注射の手順をしっかり身につけ、注射部位のローテーションをきちんと行うことが大切です。また日頃から皮膚の保湿など皮膚ケアを行いましょう。

看護師 金本 糖尿病専門医 高部倫敬